



第14回 正木町あじさい祭り&ウオーク

日時：平成22年6月13日(日) 9:00~
 場所：正木コミュニティセンター
 羽島市正木町坂丸4丁目
 問合せ先：正木町文化芸術振興会
 「羽島あじさい街道」つくる会
 TEL058-392-5363



昨年のおあじさいとウオーキング



昨年の水土里ネット羽島用水の活動



教えて!のーいんQ&A

皆さまからの質問にお答えしています。

水田農家の皆さんへ「戸別所得補償モデル対策」加入申請受付中!

将来の日本の食を守るために「戸別所得補償モデル対策」が4月からスタートしました。この対策は、水田を余すことなく活用して自給率の低い作物の生産を増やす事業と、水田農業を担う農家の経営を安定させる事業をセットで行うことで食料自給率を向上させようという制度です。
加入申請は、4月1日から6月30日までに、最寄りの地域水田農業推進協議会(市町、JA等)、農政事務所に提出して下さい。
 制度の内容や加入申請の受付窓口等の詳しい内容は、東海農政局ホームページをご覧ください。

編集・発行

リフレッシュ濃尾用水・編集事務局
<http://www.maff.go.jp/tokai/seibi/kensetu/sinnoubi/index.html>
 紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所(しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
 〒491-0903 愛知県一宮市八幡5丁目1番14号
 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851

犬山支所(いぬやまししょ)
 〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先
 TEL0568-62-6201 FAX0568-62-6270

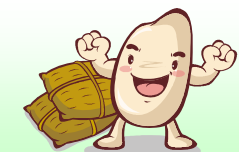
関連情報 農林水産省<http://www.maff.go.jp/> 東海農政局<http://www.maff.go.jp/tokai/index.html>

リフレッシュ濃尾用水

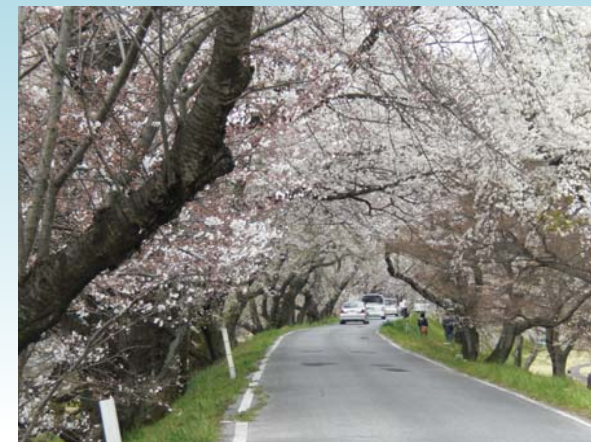
【編集発行】
 農林水産省東海農政局
 新濃尾農地防災事業所
 2010年5月 第36号

Topics!

- ★江南市の小学生約180名が宮田用水中央管理所に来てくれました。
- ★平成21年度の工事が全て無事完了しました。工事実施へのご協力、有り難うございました。
- ★犬山市の入鹿池が「ため池百選」に選定されました。
- ★6月13日、「第14回 正木町あじさい祭り&ウオーク」が開催されます。
- ★水田農家の皆さんへ「戸別所得補償モデル対策」加入申請受付中!



新濃尾地区の水路周辺の桜並木



宮田導水路(木曾川堤)
一宮市光明寺



木津用水路(丹羽高校付近)
丹羽郡扶桑町高雄



大江排水路
一宮市桜3丁目~大江3丁目



一宮市の桜まつり(大江川緑道)

水土里ネット宮田用水 現地見学会を開催！

4月15日、肌寒い曇り空の中、将来を担う江南市の草井小学校の4年生の皆さん約80名が、今年も『宮田用水中央管理所』に見学に来てくれました。

5月14日、五月晴れの中、将来を担う江南市の門弟山小学校の4年生の皆さん100名が、学校から約1時間半歩いて『宮田用水中央管理所』に見学に来てくれました。

中央管理所では、宮田用水土地改良区及び新濃尾農地防災事業所職員が宮田用水の歴史、農業用水の多面的機能や食べ物、農村等に関する説明をクイズ形式で行いました。質問の時間では、『宮田用水が1年間に使う水の量は？』等、職員が即答出来ないような鋭いものもありました。

自分の身長より大きなパネル（水管理施設）や隣接する宮田導水路、除塵機の見学では、『今どれくらいの水が流れているの？』『除塵機でとれたゴミはどこへ行くの？』等、またまた鋭い質問をたくさん頂きました。

このような見学を通じて、農業や農業用水、さらに自然環境に関心を持ち、身近な排水口に汚い水やゴミを流さないように心がけてくれるよう、職員一同願っています。



中央監視盤を見学する小学生



宮田用水の歴史を学ぶ小学生



ため池百選 犬山市の入鹿池（いるかいけ）が選定！

ため池百選とは

全国に約21万あるため池の多くは長い歴史を有し、農業用水の水源として農業の礎（いしずえ）を担うとともに、地域の文化にも深く関わり、周辺の農地や里山と一体となって多様な生物の生育・生息の場となっています。また豊かな自然環境とのふれあい・やすらぎの場、さらには環境教育の場など、多様な役割も発揮できる場であり、地域振興の核となる可能性を秘めています。他方、農業者の減少・高齢化に伴い、従来のようなため池の維持管理が難しくなり、防災面での脆弱化や多様な役割の発揮が困難になることも懸念されています。

このため、「ため池百選」を選定し、地域にとっての資源であるため池が、地域活性化の核として保全・活用される取り組みの機運を醸成するとともに、ため池の有する多様な役割と保全の必要性について国民の皆様のご理解とご協力を頂くための契機といたします。

○ため池の所在地 愛知県犬山市

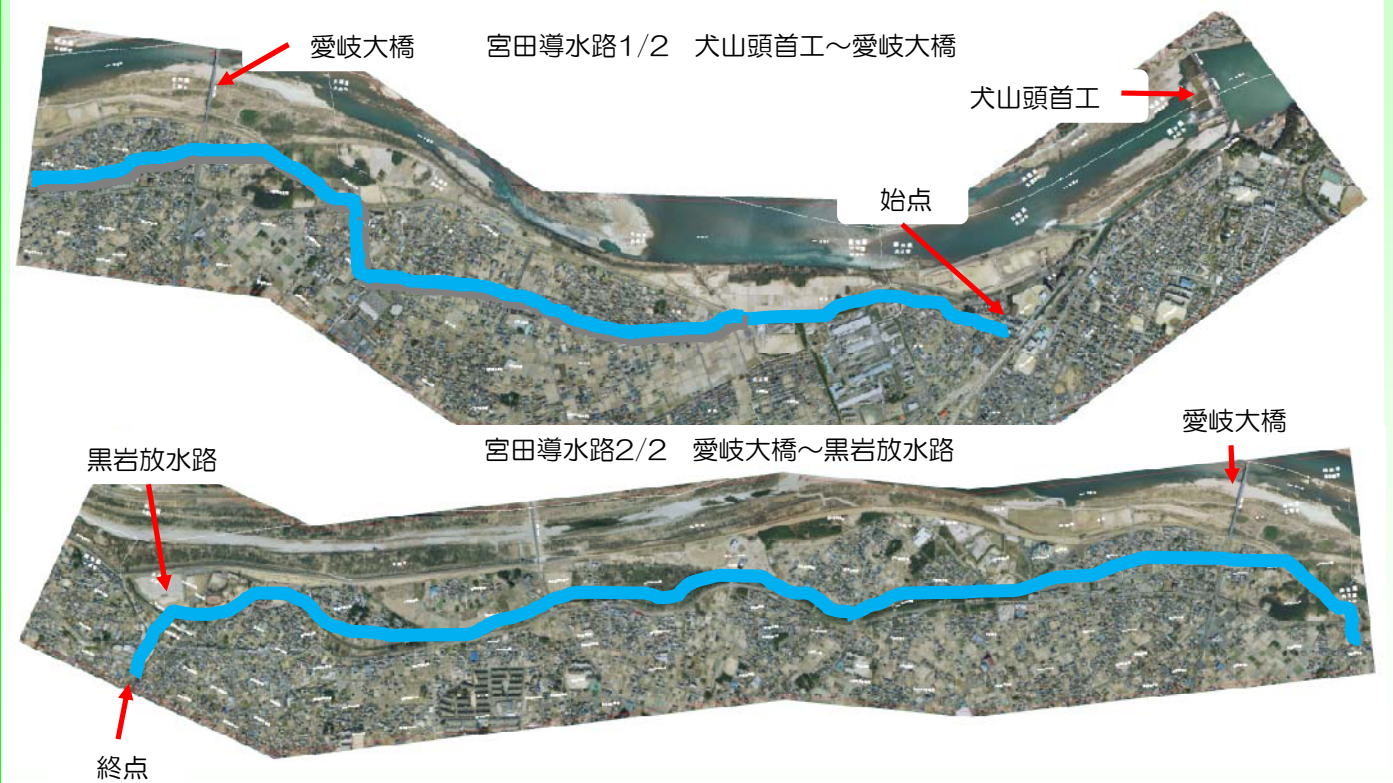
○ため池委の特徴

蘇我入鹿の領地であった入鹿村に尾張藩主徳川義直公により造られた農業用ため池で、日本第2の貯水量を持ち、築造以来380年の間、尾張平野東北部の広大な水田1,300haを潤し続けています。

1,663年の築堤後、死者1,000名を出した入鹿切れをはじめ、何度も豪雨や地震に見舞われましたが地域の努力により修復され、平成12年の東海豪雨では、調整池の役割を果たし下流の災害防止に貢献しました。



着実に宮田導水路L=9.8Kmの改修を推進！



開渠区間は、昭和30年代に造成した水路が十分な強度を有していることから、既設水路を有効に活用します。平成21年度は、L=0.6kmの水路を改修しました。



扶桑町 宮東橋から上流を望む

改修前



左写真 同場所

改修後

暗渠区間は、開水路形式の水路を用水路と側水路（排水路）に分離します。用水路は、ボックスカルバートにより暗渠化するとともに、既設水路の一部を側水路として利用することにより、有効活用を図ります。

平成21年度は、L=2.2kmの水路を改修しました。



江南市 清見橋より下流を望む

改修前



左写真 同場所

改修後